

プラスチック資源循環促進法に基づく 使い捨てプラスチック削減取組事例集

令和7年3月

環境省 環境再生・資源循環局 総務課 容器包装・プラスチック資源循環室

取組事例 掲載企業(カテゴリー毎、五十音順)

ストロー・カトラリー

- 日本ケンタッキー・フライド・チキン株式会社「木製カトラリー・ストロー不要「ドリンキングリッド」の提供」 [2](#)
- 株式会社すかいらーくホールディングス「使い捨てプラスチック使用量の削減目標の設定」 [2](#)
- 株式会社ファミリーマート「ストロー・カトラリーカトラリーの有料化」 [3](#)

アメニティ

- 株式会社西武・プリンスホテルズワールドワイド「マイアメニティセット「TABI no OTOMO」販売」、 [3](#)
- 株式会社東急ホテルズ「グリーンコイン制度」 [4](#)
- 株式会社東横イン「MY歯ブラシ持参のお願い」 [4](#)
- 森トラスト・ホテルズ&リゾーツ株式会社「プラスチック使用量削減の取組」 [5](#)

クリーニング

- 株式会社アルサホールディングス「リサイクル素材の段ボール製ハンガー」 [5](#)
- 有限会社クリーンショップアリス「ECO包装(衣類用カバーなし・有料化)」 [6](#)

自治体

- 長野県松本市「松本市特定プラスチック転換支援補助金」 [6](#)

取組み分類について	
有料化	消費者に有償で提供
代替素材	バイオマスプラスチック・再生プラスチック・プラスチック以外の素材への代替
意思確認	必要とする消費者に提供するように声をかける
その他	リユース、長期使用・長寿命化、リサイクル

※ 掲載情報は2025年3月時点のものです。
今後、リンク切れが生じる可能性がありますのでご了承ください。

木製カトラリー・ストロー不要「ドリンクグリッド」の提供



取組分類 有料化 代替素材 意思確認 その他

取組の概要

- プラスチックストローの使用量削減を目的に、ストロー不要の蓋「ドリンクグリッド」を、2024年6月から順次導入開始、全1,232店舗で導入予定。

取組の特長

- 2023年国内28店舗における実証を経て、消費者の意見なども得て、検討・改良を実施。
- よく使用されている「ドリンクグリッド」に比べ、厚みがなく平らな形状であるため、プラスチック使用量の削減効果が高い。
- 素材には使用済PETボトルから生産された再生PETを25%使用。

取組の効果

- ドリンク用プラカップの廃止、マドラー・スプーンなどの木製への切替などを実施してきた結果、2020年から3年間でプラスチック使用量全体の削減率は、1店舗平均58.7%を達成。

その他

- https://japan.kfc.co.jp/news_release/7897

特定プラスチック使用製品の削減目標の設定

特定プラスチック使用製品の削減目標

	2020年	2022年	2023年	2024年
特定プラスチック使用量実績(t)	156	5.8	1.7	5.5
特定プラスチック使用量目標(t)		39	0	0

使い捨てプラスチック使用量削減実績・KPI

	実績				KPI		
	2020年	2021年	2022年	2023年	2026年	2030年	2050年
使い捨てプラスチック使用量(t)	4,282	4,806	4,273	3,857	▲50%	▲50%	▲50%
					2020年比		
使い捨てプラスチックにおける石油由来素材比率	95%	87%	86%	86%	50%	0%	0%

取組分類 有料化 代替素材 意思確認 その他

取組の概要

- カトラリーを木製に変更する等プラスチック製品の廃止を進め、また、使い捨てプラスチック使用量の削減目標を掲げる。

取組の特長

- 2022年1月よりカトラリーをバイオマスプラスチックから木製に、2023年1月より、強度の観点からフォークは竹製に変更
- 2022年1月より、従来のバイオマスストローをFSC認証®の紙製ストローに変更。

取組の効果

- カトラリー有料化: 2022年比で2023年は75%削減
- プラスチック製ストローの廃止: 約1,100万本(2018年対比で89%削減)

その他

- https://corp.skylark.co.jp/sustainability/environment/waste_reduction/
- https://corp.skylark.co.jp/Portals/0/images/sustainability/data_collection/ESG_Databook_2022a.pdf
- https://corp.skylark.co.jp/Portals/0/images/sustainability/data_collection/ESG_Databook_2023a.pdf

プラスチック製スプーン・フォーク・ストロー有料化

有料化告知ポスター

有料化のお知らせ
 ※一部店舗限定の取り組みです。
 地球温暖化につながる石油資源の消費削減やCO₂削減のためにご協力お願いいたします。

プラスチック削減を目的にスプーン・フォーク・ストローを**有料**とさせていただきます。

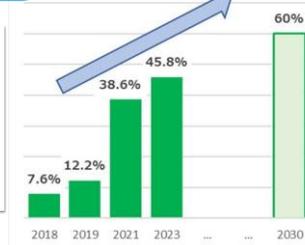
スプーン	6円
デザートスプーン	4円
フォーク	6円
ストロー （フラットストロー除く）	4円

スプーン・フォーク・ストローはレジでお買い求めください。
 ※セルフレジではバーコードをスキャンしてください。



ファミマecoビジョン2050の進捗状況

プラスチック対策



有料化された品目

取組分類

有料化

代替素材

意思確認

その他

取組の概要

- 2024年1月29日より、全国の一部直営店舗で、プラスチック製のスプーン・フォーク・ストローの有料化を実施。

取組の特長

- プラスチック資源循環促進法に基づき、プラスチック製カトラリー類の石油由来の使用量を、2030年度までに2019年度対比で50%削減を目標に置き、並行して進める。

取組の効果

- 実施対象店舗の1店舗1日あたりの合計の提供本数について、2024年1月29日～8月31日の実績を見ると、
 - 有料化前:51.0本→有料化:11.2本(▲39.8本;約78%削減)
プラスチック使用重量:100.5g→23.1g(▲77.4g;約77%削減)
 - ストローは、19.1から3.1本と最も削減率が高かった。

その他

- 「ファミマecoビジョン2050」に基づき、容器包装やオリジナル商品に環境配慮型素材を、2030年に60%、2050年に100%の使用を目指す。
- <https://www.family.co.jp/sustainability/topics/2024/s20241121.html>

マイアメニティセット「TABI no OTOMO」販売

フロントにて販売

- オリジナルポーチ（オーガニックコットン）
- 歯ブラシ/ヘアブラシ/コーム/ヘッドカバー（竹/植物由来ナイロン610）



取組分類

有料化

代替素材

意思確認

その他

取組の概要

- 独自の特許技術を用いて、防カビ剤、漂白剤などの薬剤未使用のオーガニック製法で製造した竹素材の歯ブラシやヘアブラシ、コーム等のアメニティを、オーガニックコットンのポーチに入れて、1セット3,300円でフロント及びオンラインショップにて販売。

取組の特長

- 環境分野の重要テーマの一つ「廃棄物削減」に係る「プラスチック削減」の取組を実施、その一環として、使い捨てアメニティの不使用の提案を目的に、「マイアメニティセット」販売を開始。

関連取組

- プラスチック含有量の少ない環境配慮素材アメニティに、2024年4月より順次変更。
- 一部ホテルでは、使い捨てアメニティを環境配慮素材の歯ブラシのみの設置。

その他

- <https://www.princehotels.co.jp/file.jsp?id=436987>
- <https://www.princehotels.co.jp/contents/campaign/sdgs/amenity/>

グリーンコイン制度

対象のアメニティを
ご使用にならなかったら



「子供の森」計画



「東急ホテルズ・
グリーンコインの森」



チェックアウト時に
グリーンコインをフロン
トへお渡しいただくと

取組分類

有料化

代替素材

意思確認

その他

■ 取組の概要

- 宿泊時に対象のアメニティを使用しなかった場合、部屋に備え付けのグリーンコインをチェックアウト時にフロントに渡すことで、環境保全活動に寄付できる仕組み。

■ 取組の特長

- 寄付はNGOオイスカを通して行われる。
- アメニティを使わないことで資源利用を削減し、それにより森林の保全に寄付するという二重の意味で環境に配慮した取組。

■ 取組の効果

- 2023年4月1日から2024年3月31日までの集計枚数42,973枚分相当の基金を「子供の森」計画および「森づくり活動」へ寄付。2001年より、累計で2,260,747枚分相当の寄付を実施。

■ その他

- <https://www.tokyuhotels.co.jp/company/sustainable/greencoin/index.html>

MY歯ブラシ持参のお願い



「使い捨て」をやめて「MY
歯ブラシ」にするだけで
7g/本のプラスチックごみ削減に
つながります

取組分類

有料化

代替素材

意思確認

その他

■ 取組の概要

- プラスチック資源循環促進法施行にあたり、2022年4月1日より、客室に歯ブラシを置くことを止め、フロント周辺のアメニティコーナーに設置するとともに、宿泊客に歯ブラシの持参を促す取組を開始。公式サイトや客室テレビでの表示などで周知を行い、取組を推進。

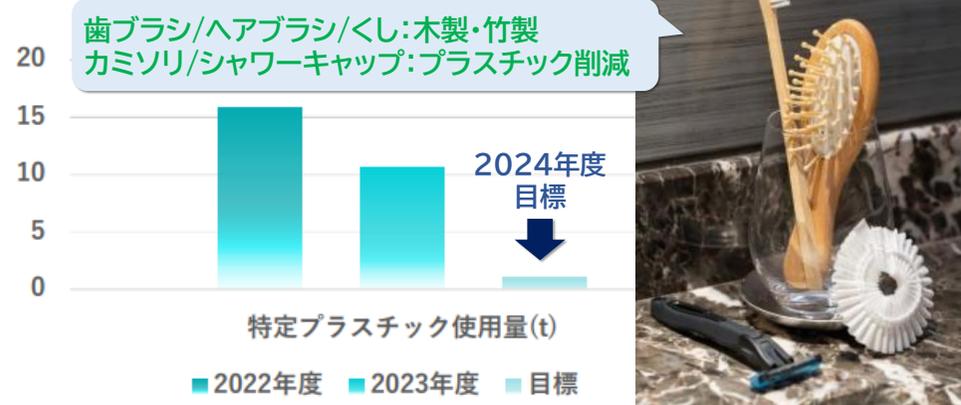
■ 取組の効果

- 歯ブラシなどのプラスチックごみの量は、1店当たり年間約198kgで、国内341店舗で約68tを削減するための取組の一つである。

■ その他

- 並行して、使用済のプラスチック製歯ブラシとコームの回収とリサイクルを行う、Toyoko Inn Blue Reborn プロジェクトも実施。
- 2025年4月1日から竹含有バイオマスプラスチック製のアメニティへ切替。
- https://www.toyoko-inn.com/news/notice/480?lcl_id=ja
- <https://www.toyoko-inn.co.jp/sustainability/sdgs.html#project>

プラスチック使用量削減の取組



取組分類 **有料化** **代替素材** **意思確認** その他

取組の概要

- 一部の宿泊施設を除き、販売もしくは必要な場合のみ提供する形に変更。また、以下の取組を実施。
- 1. 木製や竹製、プラスチック減量等の環境に配慮したアメニティを順次導入。
- 2. アメニティ持参キャンペーン「Holiday with your amenity」キャンペーンを実施(2023年6月1日～8月31日)
- 3. 2023年9月以降、一部ホテルのアメニティの無料設置廃止し、順次販売に切り替え

取組の特長

- 2024年度を目途に運営18ホテルで、特定プラスチック使用量を約15t削減し、使用総量を1tにする取組。

取組の効果

- 2023年9月1日～2024年8月31日までの1年間で、宿泊施設のアメニティのプラスチック使用量を計16.4t削減。

その他

- https://www.mt-hr.com/press/pdf/2024/20240918_mthr.pdf
- https://www.mt-hr.com/sdgs/pdf/report_2023.pdf
- <https://www.laforet.co.jp/v/plastic.html>

リサイクル素材の段ボール製ハンガー



Yシャツ用段ボールハンガー

バイオマスフィルム製カバー

取組分類 有料化 **代替素材** 意思確認 その他

取組の概要

- ほぼ100%リサイクル素材の段ボールハンガーをワイシャツ用から転換開始。2023年グッドデザイン賞を受賞。
- 衣類用カバーは、バイオマスフィルム製を使用。

取組の特長

- 使用後の段ボールハンガーも店舗で回収・リユース後にリサイクル。
- バイオマスフィルム製カバーの店頭回収開始、回収後、マテリアルリサイクルし、再製品化。グリーンング業界では日本初の回収・水平リサイクルの取組。

取組の効果

- 段ボール製ハンガーの導入により、年間約420kgのプラスチック製ハンガーを削減。
- バイオマスフィルム製カバーの使用と水平リサイクルにより、年間1,000kgプラスチックカバーの削減の見込み。

その他

- <https://www.ursa-group.jp/company/sustainability/>

ECO包装(衣類用カバーなし・有料化)

令和7年2月1日より
ECO包装に変わりました。

当店ではプラスチックごみの削減を進めています。
ハンガーの回収、マイバッグの利用にご協力ください。

Yシャツ (ビニール包装) (ノー包装) ドライ品 (ビニール包装) (不織布包装)

※店舗へはカバーバッグで搬入、ノー包装でご返却します。
※従来のビニール包装も可(※¥55)

カバーバッグ 繰り返し使用可能なマイバッグとして購入可 @¥1,100

消費者喚起のチラシ

取組分類 有料化 代替素材 意思確認 その他

■ 取組の概要

- 福島県の地元密着型の洗濯店クリーニングアリスにおける取組。
- 2025年2月1日より、Yシャツは原則衣類用カバーなしで返却、必要な場合は有料(55円/枚)。

■ 取組の特長

- 「地球にやさしいクリーニング始めませんか？」と、チラシで消費者に喚起するのみならず、SNSにおいても発信。
- 袋をつけないことから、繰り返し使用可能なカバーバッグ(1,100円)の店頭販売も開始。

■ その他

- プラスチック製ハンガーの回収も実施。
- <https://929aris.com/news/?p=548>
- https://www.instagram.com/p/DF7T4LPzppL/?img_index=4

松本市特定プラスチック転換支援補助金

ワンウェイプラスチック削減ミッション

プラスチック代替製品

- バイオマスマーク認定商品(バイオマス度25%以上)
- バイオマスプラマーク取得商品
- 紙、木等を主たる素材とする製品

ペットボトル	R3～マイボトル利用促進事業	連携	信州大学 sweetプロジェクト
テイクアウト容器	R4～テイクアウト容器リユースシステム構築事業	委託	アルパッケ
アメニティ	R4 まつもとエコ旅事業	促進	市内宿泊事業者
イベントごみ	R5～イベント用リユース食器導入事業		
幅広い事業ごみ	R6～特定プラスチック転換支援事業		

BP バイオマスプラ 地球マーク

取組分類 有料化 代替素材 意思確認 その他

■ 取組の概要

- ごみの減量と2050ゼロカーボンシティの実現を目指し、「ワンウェイプラスチック削減ミッション」を掲げ、あらゆる場面で使い捨てプラスチックの削減を実施するための取組の一つ。

■ 取組の特長

- 提供する特定プラスチック使用製品12品目をプラスチック代替製品に転換する際の費用を支援。
- プラスチック使用製品の購入経費と代替品の購入経費の差額全額を支援。ただし、業種により上限あり。

■ 取組の対象者

- 「まつもとエコ旅宣言」の発出団体に加盟の宿泊事業者。
- 各種商品小売業、飲食料品小売業、飲食店、持ち帰り・配達飲食サービス業、洗濯業のいずれかの事業を営む者。

■ その他

- <https://www.city.matsumoto.nagano.jp/soshiki/51/147001.html>
- https://3r-forum.jp/activity/seminar_symposium/2024/20241223/files/happyojirei_1.pdf